

# 『糖尿病診療ガイドライン 2019』策定にあたって

## 1. 本ガイドライン策定の目的

「糖尿病診療ガイドライン」は、エビデンスに基づく合理的かつ効率的で均質な糖尿病診療の推進を目的として2004年に初版を発行し、その後は3年ごとに発行している。本書は第6版に相当するものである。

糖尿病とその併発症に関する診療に関しては、新規作用機序の糖尿病治療薬の承認やこれらを用いた臨床試験の成果が次々と報告され、またCGM (continuous glucose monitoring) やSAP (sensor augmented pump) といった新たな診療機器の開発も進み、近年飛躍的な進歩を遂げている。また、J-DOIT 1~3やJDCP studyなど、わが国からいくつかの大規模臨床試験の成果が報告された。加えて、この3年間に、脂質管理や血圧管理に関して日本動脈硬化学会や日本高血圧学会から新しいガイドラインが発表されている。本ガイドラインはこれらの診療の進歩、新知見の集積、新規エビデンスを盛り込むことを目的に策定した。

本ガイドラインの章立ては、2016年版と同じとし、同様にCQ (Clinical Question)・Q (Question)方式を継続した。ただし、各CQ・Qごとに細かくその文言を吟味し、必要に応じて見直しや追加のCQ・Qを設定した。これは、糖尿病の臨床現場における活用をより意識したものである。なお、本ガイドラインにおける策定過程等に関しては「糖尿病診療ガイドライン策定作業の方法論」に詳述されているので、同章をお読みいただいたうえで、本ガイドラインを利用いただきたい。

本ガイドラインがわが国の糖尿病診療におけるEBM (Evidence-based Medicine) の実践のための指針となり、糖尿病患者の健康寿命の延伸・QOL (quality of life) の向上に寄与するものとなることを期待する。

## 2. 本ガイドラインの対象

- 1) 利用対象：下記診療に従事する一般臨床医（糖尿病専門医を含む）
- 2) 診療対象：糖尿病およびその併発症

## 3. 本ガイドライン策定の手順

### (1) 策定の基準

各項目とも「CQあるいはQ」を冒頭に示し、それに対する「ステートメント」、「解説」、「引用文献」、「参考とした資料」を記載するフォーマットとした。

「CQ」は推奨度(推奨グレード)を問う疑問として回答が可能な臨床的疑問、「Q」は「CQ」以外の臨床的疑問(推奨グレードは付さない)、として区別した。CQに対するステートメントでは、「推奨グレード」とその推奨グレードに対する策定委員会における「合意率」を記載した。「推奨グレード」は「グレードA(強い推奨)」と「グレードB(弱い推奨)」の2段階とした。合意率は策定委員会による投票によって決定し、70%以上の合意をもって採択した。

「引用文献」の各文献にはそのエビデンスレベルを記載した。エビデンスレベルを伴わない

ものは「参考とした資料」として引用文献とは区別した。またステートメントに引用されている文献については、「論文コード(研究デザイン・エビデンスレベルも併記)」、「対象」、「方法」、「結果」を記載した「アブストラクトテーブル」を策定し、章ごとに掲載した。

なお、「推奨グレード」、「エビデンスレベル」の基準、「研究デザイン」の種類などに関しては「糖尿病診療ガイドライン策定作業の方法論」の章に詳述しているので参照していただきたい。

## (2) 委員会構成

本ガイドラインの策定においては、「統括委員会」、「策定委員会」、「評価委員会」、「システマティックレビュー(SR)サポートチーム」、「リエゾン委員会」、「顧問」を組織し、それぞれ以下の役割を担った。統括委員はその他の委員を兼務している場合もあるが、策定委員と評価委員の兼務は不可とし、内容評価の独立性を担保した。

- 統括委員会：日本糖尿病学会内の各種関連委員会の委員長ならびに本ガイドラインの策定委員会・評価委員会・SRサポートチームの委員長を主として組織し、本ガイドラインにおける基本方針の決定、全体的な内容調整を行った。
- 策定委員会：糖尿病およびその併発症、関連疾患の医療・医学の専門家により組織し、CQ・Qの策定およびCQ・Qに基づく系統的文献検索・SR、ステートメント・解説・アブストラクトテーブルの策定を行った。また、CQにおけるすべてのステートメントの内容・推奨グレードの妥当性について投票を行って決定した。
- 評価委員会：糖尿病およびその併発症、関連疾患の医療・医学の専門家により組織し、CQ・Q・ステートメント・解説・アブストラクトテーブルの記載内容ならびに採用エビデンスの最新性、正確性、妥当性、整合性などについて評価を行った。
- SRサポートチーム：糖尿病およびその併発症、関連疾患の医療・医学の専門家ならびに医療統計・疫学の専門家により組織し、文献検索・SRのサポート、採用エビデンスのレベル確認などを行った。
- リエゾン委員会：関連する各学会から推薦された医療・医学の専門家により組織し、関連各学会が専門とする本ガイドラインにおける記載内容ならびに採用エビデンスの最新性、正確性、妥当性などについて評価を行った。
- 外部評価委員：日本糖尿病協会により推薦された委員により組織し、本ガイドラインにおける記載内容ならびに採用エビデンスの最新性、正確性、妥当性などについて評価を行った。
- 顧問：糖尿病に関する各種団体の代表者を中心として組織し、本ガイドライン全体について医療情勢なども鑑みた俯瞰的立場から内容評価を行った。顧問は評価の独立性を担保するために他の委員との兼務は不可とした。

## (3) 策定の作業

本ガイドラインの策定経過について以下にまとめる。なお、エビデンスとなる論文は、下記の種々の段階で新しい論文に更新し、その都度SRを行った。また、各段階において全体の基本方針にかかわる事項あるいは内容の整合性等に関して、策定委員長・策定委員長補佐と評価委員長・評価委員長補佐による検討会議を適宜実施して調整を図った。

- ①2017年2月17日：第1回統括委員会開催（基本方針、組織構成、本の規模、CQ・Qに

- ついて、用語の統一などについて決定)
- ②2017年4月14日：第1回策定委員会開催（策定方法，組織構成・役割，本の規模，CQ・Qについて，用語の統一などについて決定）
  - ③2017年4～5月：CQ・Qの検討（策定委員会）
  - ④2017年6月16日：SRサポートチーム会議
  - ⑤2017年6月：CQ・Qの評価（統括委員会・評価委員会）
  - ⑥2017年7月：上記評価後のCQ・Qの再検討（策定委員会）
  - ⑦2017年10月：CQ・Qの確定（コアメンバー）
  - ⑧2017年8月～2018年2月：文献検索・収集・評価，アブストラクトテーブル作成，エビデンスレベル付記〔一次原稿〕（策定委員会）
  - ⑨2018年3～5月：〔一次原稿〕の評価（評価委員会）
  - ⑩2018年6月：上記評価後の原稿修正〔二次原稿〕（策定委員会）
  - ⑪2018年8月4日：第2回策定委員会（ステートメント・解説の確認，推奨グレードの投票）
  - ⑫2018年8～9月：上記委員会後の原稿修正〔三次原稿〕（策定委員会）
  - ⑬2018年9月：〔三次原稿〕の全体評価（統括委員会・策定委員会・評価委員会・顧問）
  - ⑭2018年10月：全体評価後の原稿修正〔四次原稿〕（策定委員会）
  - ⑮2018年11月：〔四次原稿〕によるパブリックコメント募集，リエゾン委員・外部評価委員による評価
  - ⑯2019年4月：パブリックコメント，リエゾン委員・外部評価委員による評価後の原稿修正〔五次原稿＝最終原稿〕（策定委員会）
  - ⑰2019年6～8月：統括委員会・策定委員会・顧問・学会理事による校正刷りの校閲
  - ⑱2019年10月：発行

#### (4) 今後の発行予定

本ガイドラインは2004年の初版発行以降，3年ごとに定期的に発行しており，今後も継続的な発行を予定している。

## 4. 本ガイドラインの使用法

本ガイドラインは臨床医が適切かつ妥当な診療を行うための臨床的判断を支援する目的で，現時点における医学的知見に基づいて策定されたものである。個々の患者の診療は，その患者のすべての臨床データをもとに主治医によって個別に決定がなされるべきものである。したがって，本ガイドラインは医師の裁量を拘束するものではない。また，本ガイドラインは，すべての患者に適用されるものではなく，患者の状態を正確に把握したうえで，それぞれの診療の現場で参考とされるために策定されたものである。

日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン 2019」統括委員会・策定委員会・評価委員会は，本ガイドラインの記載内容については責任を負うが，個々の診療行為についての責任を負わない。また，本ガイドラインの内容は医療訴訟対策などの資料となるものではない。

## 5. 本ガイドラインの策定費用

本ガイドラインの策定はすべて日本糖尿病学会が費用を負担しており、他企業からの資金提供はない。

## 6. 利益相反 (COI) について

1) 本ガイドラインでは、策定・評価にかかわった各委員 (統括委員, 策定委員および策定委員協力者, 評価委員, SR サポートチーム, リエゾン委員, 顧問) と糖尿病および関連疾患に関与する企業との間の COI につき、各委員から申告を得て問題となる可能性がある場合、執筆や投票への関与を制限した。推奨グレードの決定においては CQ ごとに確認を行い、COI 状態にある策定委員を除き投票を行った (下表)。

### 策定参加者の議決権に関する基準額

診療ガイドライン策定参加者の個人 COI			
講演料	パンフレットなど 執筆料	受け入れ 研究費	奨学 (奨励) 寄附金
200 万円	200 万円	2,000 万円	1,000 万円

基準額は 1 社あたりの金額

2) 関連学会からのリエゾン委員や日本糖尿病協会からの外部評価委員の参加によって意見の偏りを防ぎ、公平性を担保するように努めた。さらに出版前のパブリックコメントを名誉会員・功労学術評議員・学術評議員より受け付けることにより幅広い意見を収集した。なお、糖尿病診療・療養指導に看護師の果たす役割も大きいことから、日本糖尿病教育・看護学会、日本慢性看護学会からも意見を頂戴した。

## 7. ガイドライン普及と活用促進について

書籍として出版するとともに、日本糖尿病学会ホームページにおいても公開を行う予定である。

2019 年 9 月

「糖尿病診療ガイドライン 2019」策定に関する委員会

## 利益相反に関して

日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン 2019」策定に関する委員会では、統括委員・策定委員・評価委員・策定委員協力者・SR サポートチーム・顧問・リエゾン委員・外部評価委員と糖尿病および関連疾患に関与する企業との間の経済的関係につき、以下の基準で統括委員・策定委員・評価委員・策定委員協力者・SR サポートチーム・顧問・リエゾン委員・外部評価委員より過去3年間の利益相反状況の申告を得た。

〈利益相反開示項目〉 該当する場合は具体的な企業名（団体名）を記載、該当しない場合は「該当なし」を記載する。

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの年間100万円以上）
2. 株の保有と、その株式から得られる利益（1つの企業の年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上を保有する場合）
3. 企業や営利を目的とした団体から支払われた特許使用料（1つの特許使用料が年間100万円以上）
4. 企業や営利を目的とした団体から会議の出席（発表、助言など）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など（1つの企業・団体からの年間の講演料が合計50万円以上）
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料（1つの企業・団体からの年間の原稿料が合計50万円以上）
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（1つの企業・団体から医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金の総額が年間100万円以上）
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄附金（1つの企業・団体から申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上）
8. 企業などが提供する寄附講座に申告者らが所属している場合
9. 研究とは直接に関係しない旅行、贈答品などの提供（1つの企業・団体から受けた報酬総額が年間5万円以上）

統括委員・策定委員・評価委員・策定委員協力者・SR サポートチーム・顧問・リエゾン委員はすべて「糖尿病診療ガイドライン 2019」の内容に関して、糖尿病および関連疾患の医療・医学の専門家あるいは専門家として、科学のおよび医学の公正さと妥当性を担保し、対象となる疾患の診療レベルの向上、対象患者の健康寿命の延伸・QOLの向上を旨として編集作業を行った。利益相反の扱いに関しては、日本糖尿病学会の「利益相反（COI）」に関する指針に従った。

申告された企業名は以下の通りである（対象期間は2016年1月1日～2018年12月31日）。企業名は2019年8月現在の名称とした（50音順）。

※すべての申告事項に該当がない委員については、表末尾に記載した。

[統]：統括委員会，[策]：策定委員会，[評]：評価委員会，[SR]：SR サポートチーム，[協]：執筆協力者，[S協]：SR 協力者，  
[顧]：顧問，[リ]：リエゾン委員，[外]：外部評価委員

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
赤沼 安夫 [顧]	該当なし	該当なし	該当なし	三和化学研究所	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
阿部 雅紀 [リ] 日本透析医学会	該当なし	該当なし	該当なし	アステラス製薬、大塚製薬、小野薬品工業、協和キリン、キッセイ薬品工業、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬、鳥居薬品、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、バクスター、持田製薬	該当なし
	該当なし	アステラス製薬、大塚製薬、小野薬品工業、キッセイ薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共、田辺三菱製薬、中外製薬、帝人ファーマ、鳥居薬品、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、バイエル薬品、バクスター、ファイザー	大塚製薬、小野薬品工業、中外製薬、テルモ、東レ・メディカル、日機装、ニプロ	該当なし	—
荒木 厚 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、キッセイ薬品工業、協和キリン、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
荒木 栄一 [統] [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, 興和, サノフィ, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, サノフィ, 塩野義製薬, 第一三共, 大正製薬, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ, ファイザー,	MSD	該当なし	—
荒木 信一 [S協]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	協和キリン, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ	該当なし	該当なし	—
池上 博司 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, 大塚製薬, 小野薬品工業, テルモ, 日本イーライリリー, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	アステラス製薬, アボット・ジャパン, 大塚製薬, 小野薬品工業, 協和キリン, ジョンソン・エンド・ジョンソン, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	該当なし	該当なし	—
石垣 泰 [リ] 日本動脈硬化学会	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, 興和, サノフィ, 武田薬品工業, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	該当なし
	エイツールスケア, 公益財団法人武田科学振興財団, 第一三共	MSD, 小野薬品工業, 田辺三菱製薬, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
石田 均 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, 小野薬品工業, 三和化学研究所, 田辺三菱製薬	該当なし
	該当なし	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, サノフィ, 三和化学研究所, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
石橋 俊 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス・アムジェン・バイオファーマ, 興和	該当なし
	該当なし	アステラス製薬, 小野薬品工業, 興和, 塩野義製薬, 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	—
石原 寿光 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 三和化学研究所, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, サノフィ, 第一三共, 大正富山医薬品, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
和泉 雄一 [策]	アイオニック	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
稲垣 暢也 〔統〕〔評〕	該当なし	該当なし	該当なし	興和	該当なし
	アストラゼネカ、第一三共、田辺三菱製薬	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、キッセイ薬品工業、協和キリン、サノフィ、三和化学研究所、第一三共、大正富山医薬品、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝人ファーマ、日本イーライリリー、日本たばこ産業、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、ノボルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
今川 彰久 〔評〕	該当なし	該当なし	該当なし	アステラス製薬、小野薬品工業、日本イーライリリー	該当なし
	アステラス製薬、アストラゼネカ、総合医科学研究所、大鵬薬品工業、中外製薬、フリストル、マイヤーススクイブ	アステラス製薬、小野薬品工業、協和キリン、武田薬品工業	該当なし	該当なし	—
植木 浩二郎 〔統〕〔策〕	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、アストラゼネカ、小野薬品工業、サノフィ、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボルディスクファーマ	該当なし
	アステラス製薬	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、協和キリン、サノフィ、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、ノバルティスファーマ、ノボルディスクファーマ	MSD、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボルディスクファーマ	該当なし	—
内湯 安子 〔評〕	該当なし	該当なし	該当なし	アステラス製薬、サノフィ、テルモ、日本イーライリリー、ノボルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	MSD、アステラス製薬、エーザイ、興和、サノフィ、武田薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ	該当なし	該当なし	—
宇都宮 一典 〔策〕	該当なし	該当なし	該当なし	サノフィ、大日本住友製薬、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	小野薬品工業、キッセイ薬品工業、協和キリン、大正富山医薬品、大日本住友製薬、武田薬品工業、テルモ、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
浦上 達彦 〔策〕	該当なし	該当なし	該当なし	JCR ファーマ、サノフィ、テルモ、ノボルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
大澤 春彦 〔統〕〔評〕	該当なし	該当なし	該当なし	ノバルティスファーマ	該当なし
	該当なし	第一三共、大正富山医薬品、武田薬品工業、田辺三菱製薬	該当なし	該当なし	—
大杉 満 〔協〕	該当なし	該当なし	該当なし	日本イーライリリー	該当なし
	MSD、アボット・ジャパン、協和キリン、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボルディスクファーマ	大日本住友製薬、田辺三菱製薬、ノバルティスファーマ	該当なし	該当なし	—
大西 浩文 〔S 協〕	該当なし	該当なし	該当なし	第一三共	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
岡田 浩一 〔リ〕日本腎臓学会	該当なし	該当なし	該当なし	アレクシオンファーマ、協和キリン、田辺三菱製薬、鳥居薬品、中外製薬、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	協和キリン	MSD、協和キリン、中外製薬、鳥居薬品、バイエル薬品	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
小川 渉 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アボット・ジャパン, サノフィ, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	該当なし
	Abbott Diabetes Care UK Ltd, アステラス製薬, アストラゼネカ, アボット・ジャパン, 杏林製薬, 田辺三菱製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム	アステラス製薬, アボット・ジャパン, 小野薬品工業, サノフィ, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
加来 浩平 [願]	三和化学研究所	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 興和, サノフィ, 三和化学研究所, シミック, 第一三共, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ, 富士フィルムファーマ	該当なし
	該当なし	大正富山医薬品, 田辺三菱製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	—
春日 雅人 [願]	該当なし	該当なし	該当なし	武田薬品工業	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
片桐 秀樹 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, 第一三共, 大正富山医薬品, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	該当なし
	アステラス製薬, 大塚製薬	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, サノフィ, 第一三共, 大正富山医薬品, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
片山 茂裕 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, 武田薬品工業	該当なし
	該当なし	公益財団法人日本ワックスマン財団	該当なし	該当なし	—
門脇 孝 [願]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, サノフィ, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	武田薬品工業
	第一三共, 武田薬品工業	アステラス製薬, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 協和キリン, サノフィ, 第一三共, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, ノボノルディスクファーマ	MSD, 朝日生命保険, 小野薬品工業, 興和, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし	—
金藤 秀明 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, サノフィ, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	大正製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, サノフィ, 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
神谷 英紀 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, サノフィ, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
瓶井 資弘 [リ] 日本糖尿病眼 学会	該当なし	該当なし	該当なし	アルコンファーマ, 参天製薬, 千寿製薬, 日本アルコン, バイエル薬品, ファイザー	該当なし
	該当なし	HOYA, アルコンファーマ, アローズ, エイムオー・ジャパン, 参天製薬, 千寿製薬, 中央産業貿易, 日本アルコン, ノバルティスファーマ, ファイザー, リイツメディカル, わかもと製薬	該当なし	該当なし	—
川浪 大治 [S協]	該当なし	該当なし	該当なし	武田薬品工業	該当なし
	該当なし	協和キリン, サノフィ, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	—
河盛 隆造 [顧]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, 三和化学研究所, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
北田 宗弘 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	協和キリン	該当なし
	協和キリン, 三和化学研究所	MSD, 第一三共, 日本イーライリリー	小野薬品工業, 協和キリン, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	—
久米 真司 [S協]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	日産化学, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	該当なし	—
剣持 敬 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	ノバルティスファーマ	アステラス製薬, 中外製薬, ノバルティスファーマ	該当なし	該当なし	—
古家 大祐 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, 協和キリン, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	アストラゼネカ, エイツヘルスケア, 田辺三菱製薬, 森永製菓	アステラス製薬, キッセイ薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィ, ジョンソン・エンド・ジョンソン, 大正製薬, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本たばこ産業, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品, ファイザー	小野薬品工業, 協和キリン, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	—
近藤 義宣 [S協]	該当なし	該当なし	該当なし	ノボノルディスクファーマ	該当なし
	三和化学研究所	該当なし	該当なし	該当なし	—
齋藤 重幸 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	武田薬品工業, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
四方 賢一 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、アストラゼネカ、小野薬品工業、協和キリン、サノフィ、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	田辺三菱製薬、日本イーライリリー	MSD	該当なし	該当なし	—
島田 朗 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、サノフィ、田辺三菱製薬、テルモ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	ノバルティスファーマ	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、第一三共、武田薬品工業、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
島野 仁 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、興和	該当なし
	興和、日本ベーリンガーインゲルハイム、持田製薬	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、興和、第一三共、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝人ファーマ、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ、ファイザー	該当なし	該当なし	—
島袋 充生 [S 協] [リ] 日本 動脈硬化学会	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、興和、三和化学研究所、第一三共、大正富山医薬品、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	—
下澤 達雄 [評]	エーディア、積水メディカル（エーディア）	該当なし	該当なし	アステラス製薬、第一三共、武田薬品工業、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
下村 伊一郎 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、興和、サノフィ、三和化学研究所、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	興和、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、ロート製薬	MSD、アステラス製薬、アストラゼネカ、一般社団法人日本糖尿病学会、一般財団法人みどり健康管理センター、小野薬品工業、協和キリン、公益財団法人 MSD 生命化学財団、公益財団法人興和生命科学振興財団、公益財団法人鈴木謙三記念医学応用研究財団、公益財団法人日本応用酵素協会、公益財団法人日本糖尿病財団、興和、互恵会・大阪回生病院、サノフィ、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝人ファーマ、テルモ、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
杉山 雄大 [S 協]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	該当なし	JMDC	該当なし	—
清野 裕 [顧]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、花王、大正製薬、大正富山医薬品、武田薬品工業、日本ベクトン・ディッキンソン、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
曾根 博仁 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、ノバルティスファーマ	該当なし
	アステラス製薬、ノボノルディスクファーマ	MSD、小野薬品工業、協和キリン、興和、第一三共、大正富山医薬品、大日本住友製薬、武田薬品工業、帝人ファーマ、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ	該当なし	該当なし	—
曾根 正勝 [リ] 日本高血圧学会	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	該当なし	MSD、小野薬品工業、田辺三菱製薬	該当なし	—
大門 眞 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、興和、田辺三菱製薬、日本イーライリリー	該当なし
	該当なし	MSD、アステラス製薬、アストラゼネカ、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、ノバルティスファーマ	該当なし	該当なし	—
竹内 靖博 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	旭化成ファーマ、アステラス製薬、協和キリン、第一三共、中外製薬、帝人ファーマ	該当なし
	協和キリン	第一三共、中外製薬、帝人ファーマ	該当なし	該当なし	—
武田 純 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、三和化学研究所、大正富山医薬品、田辺三菱製薬、日本イーライリリー	該当なし
	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、サノフィ、三和化学研究所、ジョンソン・エンド・ジョンソン、第一三共、大正富山医薬品、武田薬品工業、帝人ファーマ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、ファイザー	該当なし	該当なし	—
田嶼 尚子 [願]	該当なし	該当なし	該当なし	武田薬品工業、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
田中 逸 [評]	トップ	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、キッセイ薬品工業、サノフィ、大日本住友製薬、武田薬品工業、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	三和化学工業、ノバルティスファーマ、日本ベーリンガーインゲルハイム	MSD、アボット・ジャパン、小野薬品工業、サノフィ、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ、ロシュ・ダイアグノスティックス	該当なし	該当なし	—
谷澤 幸生 [統] [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、協和キリン、サノフィ、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	—
田村 好史 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アストラゼネカ、興和、武田薬品工業、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	興和	サノフィ、第一三共、田辺三菱製薬、日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	—
塚本 和久 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、サノフィ、武田薬品工業、バイエル薬品	該当なし
	該当なし	サノフィ、田辺三菱製薬、バイエル薬品	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
寺内 康夫 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、アストラゼネカ、小野薬品工業、サノフィ、三和化学研究所、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ、バイエル薬品	該当なし
	該当なし	MSD、アステラス製薬、アストラゼネカ、小野薬品工業、サノフィ、塩野義製薬、大日本住友製薬、武田薬品工業、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
戸邊 一之 [評][リ] 日本肥満学会	該当なし	該当なし	該当なし	興和、田辺三菱製薬、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	MSD、アークレイマーケティング、旭化成ファーマ、医療法人社団七徳会、小野薬品工業、第一三共、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝人ファーマ、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ、富士化学工業、プリストル・マイヤースタイプ	該当なし	該当なし	—
永井 聡 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	日本イーライリリー	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
中村 昭伸 [S 協]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	アストラゼネカ、大正製薬、田辺三菱製薬	小野薬品工業、田辺三菱製薬、ライフスキャン	該当なし	該当なし	—
中村 宇大 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	第一三共、田辺三菱製薬	該当なし	該当なし	—
中村 二郎 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、サノフィ、第一三共、大正富山医薬品、武田薬品工業、田辺三菱製薬、テルモ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	キッセイ薬品工業、日本ベーリンガーインゲルハイム	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、サノフィ、第一三共、大正富山医薬品、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、日本たばこ産業、ノバルティスファーマ、ノボノルディスクファーマ、ファイザー	該当なし	該当なし	—
難波 光義 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	三和化学研究所、日本イーライリリー、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	小野薬品工業、田辺三菱製薬	該当なし	該当なし	—
西尾 善彦 [リ] 日本動脈硬化学会	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、興和、サノフィ、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、日本イーライリリー、ノボノルディスクファーマ、バイエル薬品	該当なし
	バイエル薬品	MSD、小野薬品工業、田辺三菱製薬	該当なし	該当なし	—
西村 理明 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、キッセイ薬品工業、サノフィ、武田薬品工業、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	該当なし	—
野田 光彦 [統][評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD、ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	MSD、アステラス製薬、小野薬品工業、協和キリン、興和、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝人ファーマ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボノルディスクファーマ、ノバルティスファーマ	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
野出 孝一 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス・アムジェン・バイオファーマ, アステラス製薬, アストラゼネカ, 大塚製薬, 小野薬品工業, 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, バイエル薬品, ファイザー	該当なし
	旭化成ファーマ, アステラス製薬, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, テルモ, 日本ペーリンガーインゲルハイム, バイエル薬品	アステラス製薬, 第一三共, 武田薬品工業, 帝人ファーマ, バイエル薬品, プリストル・マイヤーズ	該当なし	該当なし	—
能登 洋 [統][評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, サノフィ, 日本イーライリリー	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
花房 俊昭 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
馬場 正之 [評]	第一三共	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
羽田 勝計 [顧]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	小野薬品工業, 塩野義製薬, ジョンソン・エンド・ジョンソン, ノボノルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
福井 道明 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アストラゼネカ, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィ, 三和化学研究所, 第一三共, 大正富山医薬品, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	アストラゼネカ, 小野薬品工業, 大正製薬, 日本ケミファ	MSD, アステラス製薬, キッセイ薬品工業, 協和キリン, ギリアド・サイエンシス, 興和, サノフィ, 三和化学研究所, ジョンソン・エンド・ジョンソン, 第一三共, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	小野薬品工業	該当なし	—
前川 聡 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, キッセイ薬品工業, サノフィ, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	該当なし
	アステラス製薬, アストラゼネカ, 協和キリン, 三基商事, サンスター, 日産化学, 日本ペーリンガーインゲルハイム	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィ, 三基商事, 三和化学研究所, 塩野義製薬, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人, ニプロ, 日本イーライリリー, 日本ペーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品, ファイザー, 富士薬品	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
益崎 裕章 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 三和化学研究所, 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	該当なし
	岡安商店, 実身美	MSD, アステラス製薬, 第一三共, 武田薬品工業, 帝人ファーマ, 日本血液製剤機構, 日本ベーリンガーインゲルハイム, バイエル薬品	該当なし	該当なし	—
三木 隆幸 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	アストラゼネカ, 小野薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボルディスクファーマ	該当なし
	小野薬品工業	第一三共	該当なし	該当なし	—
三田 智也 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, 小野薬品工業, 武田薬品工業	該当なし
	該当なし	アステラス製薬, 第一三共	MSD, 小野薬品工業, 興和, 三和化学研究所, 総合医科学研究所, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	—
村田 敏規 [リ] 日本眼科学会	該当なし	該当なし	該当なし	アルコンファーマ, 参天製薬, ノバルティスファーマ, バイエル薬品	参天製薬
	千寿製薬, バイエル薬品, バレクセルインターナショナル	HOYA, アルコンファーマ, 参天製薬, 日本アルコン, ノバルティスファーマ, バイエル薬品, ファイザー, リイツメディカル, 労働福祉協会	該当なし	該当なし	—
森野 勝太郎 [協]	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, 三基商事, サンスター	該当なし	該当なし	該当なし	—
守屋 達美 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	日本イーライリリー	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
山田 祐一郎 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, 小野薬品工業, サノフィ, 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, ノボルディスクファーマ	該当なし
	該当なし	小野薬品工業, 三和化学研究所, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, ノボルディスクファーマ	該当なし	該当なし	—
横手 幸太郎 [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス・アムジェン・バイオファーマ, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィ, 塩野義製薬, 第一三共, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボルディスクファーマ, ファイザー, ヤンセンファーマ	該当なし
	アステラス製薬, 大正富山医薬品	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, 花王, 興和, 塩野義製薬, 第一三共, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, テルモ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボルディスクファーマ, ファイザー, 持田製薬	MSD	該当なし	—
横野 浩一 [評]	該当なし	該当なし	該当なし	日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—

氏名	開示項目 1	開示項目 2	開示項目 3	開示項目 4	開示項目 5
	開示項目 6	開示項目 7	開示項目 8	開示項目 9	—
吉岡 成人 [統] [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, サノフィ, ノボルティスクファーマ	該当なし
	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	—
綿田 裕孝 [統] [策]	該当なし	該当なし	該当なし	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, サノフィ, 三和化学研究所, 第一三共, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, テルモ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボルティスクファーマ, 富士フイルムファーマ	該当なし
	興和, サノフィ, 三和化学研究所, 日本イーライリリー, ノバルティスクファーマ, ヤクルト	MSD, アステラス製薬, キッセイ薬品工業, 協和キリン, サノフィ, ジョンソン・エンド・ジョンソン, 第一三共, 大正富山医薬品, 大日本住友製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスクファーマ, ノボルティスクファーマ, ファイザー	MSD, 小野薬品工業, 興和, 三和化学研究所, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	該当なし	—

\*法人表記は省略。

\*下記の委員については申告事項該当なし。

青木 政子 [S 協]  
 雨宮 伸 [評]  
 石井 規夫 [S 協]  
 市岡 滋 [評]  
 稲垣 幸司 [リ] 日本歯周病学会  
 岩本 安彦 [顧]  
 大隈 俊明 [S 協]  
 大村 有加 [協]  
 押田 芳治 [評]  
 折笠 秀樹 [統] [策] [SR]  
 加賀 英義 [協]  
 片桐 さやか [S 協]  
 加藤 聡 [評]  
 壁谷 悠介 [SR]  
 楠 宜樹 [協]  
 葛谷 英嗣 [策]  
 河野 茂夫 [評]  
 後藤 温 [策] [SR]  
 小林 哲郎 [評]  
 近藤 龍也 [統] [策] [協]  
 齊藤 美保子 [外] 日本糖尿病協会  
 佐久間 貞典 [評]  
 佐々木 秀行 [策]  
 佐藤 淳子 [S 協]  
 柴山 大賀 [リ] 日本糖尿病教育・看護学会  
 新保 卓郎 [統] [SR]  
 杉山 隆 [リ] 日本糖尿病・妊娠学会  
 鈴木 潤一 [協]  
 鈴木 瑠璃子 [S 協]  
 辰島 啓太 [協]  
 田村 嘉章 [協]  
 千葉 優子 [S 協]  
 辻本 哲郎 [SR]  
 土井 康文 [策]  
 中 啓吾 [協]  
 中西 弘 [外] 日本糖尿病協会  
 西村 英紀 [評]  
 能宗 伸輔 [S 協]  
 馬場 雄介 [S 協]  
 林野 泰明 [SR]  
 姫野 龍仁 [S 協]  
 平井 洋生 [外] 日本糖尿病協会  
 平松 祐司 [評]  
 藤倉 純二 [策]  
 藤本 新平 [策]  
 船越 生吾 [協]  
 堀内 映里 [S 協]  
 前澤 善朗 [協]  
 松尾 俊宏 [S 協]  
 松野 正平 [S 協]  
 水谷 幸嗣 [協]  
 安田 斎 [評]